



【NEZU システム通信】

(Vol.0016)

発行日 07.10.1

ごあいさつ 日頃は根津グループとお取引頂きまして、誠にありがとうございます。

今回のNEZUシステム通信は、10月1日より一般にも提供が始まる『緊急地震速報』に併せまして、『緊急地震速報』の現状についてお届け致します。

一般提供の開始

2006年8月から開始された『緊急地震速報』は企業向けの提供のみでしたが、**10月1日(月)午前9時より一般にも提供が始まります。**一般提供では、テレビやラジオ、インターネット、専用回線、防災行政無線、衛星放送等によって、一般の皆様には伝えられます。一番身近な速報受信となるテレビでは、地震が発生すると強い揺れが警戒される地域名やその周辺地域の地図などのテロップが警戒音と共に配信されるようになるでしょう。NHKでは「震度5弱」以上の強い揺れが予測された場合に、テレビとラジオのすべての放送波で速報します。

認知度について

先日発表された気象庁の『緊急地震速報』についてのアンケート結果では、9月上旬時点で61%の認知度しかありませんでした。実際に、7月に起きた新潟県中越沖地震で、2年前から先行して緊急地震速報が導入されていた長野県のある地域では、「試験放送かと思った」、「本当に地震が来るのか半信半疑だった」などと、速報を信じ切れていない実態も浮かび上がっています。『緊急地震速報』についての認知度はまだまだ浸透していないのが現状のようです。

認知度が向上し『緊急地震速報』が定着するまでは副作用のパニックも起こりうると考えられますが、定着後は大変価値の大きい情報となるでしょう。

『緊急地震速報』とは？（復習）

2007年1月号のNEZUシステム通信の復習となりますが、**緊急地震速報とは、地震波が到達する前に推定震度や余裕時間がわかる情報です。**従来、気象庁からの地震情報の発表は、早くても地震発生から約5分後でした。『緊急地震速報』は、気象庁が地震発生直後に、震源に近い地震計でとらえた初期微動（P波）データをもとに解析して震源や地震の規模（マグニチュード）を直ちに推定し、これに基づいて各地での主要動（S波：P波より遅れて到達し主要な破壊現象を引き起こす揺れ）の到達時刻や震度を推定、可能な限り素早く知らせます。

メリットと課題

たとえ数秒前の事前情報でも、命に係わる貴重な情報になるでしょう。

メリット

- ・ テーブルや机等の下に潜って避難したり、安全場所の確保ができたりする。
- ・ 危険作業を中止することができる。
- ・ ガス等の火を止め、二次災害の低減をすることができる。 等

『緊急地震速報』では価値の大きい効果も期待されますが、技術的に限界もある為、課題も残されています。

課題

- ・ 震源に近いところ（陸地の真下が震源となる直下型地震等）では速報が間に合わず、大きな揺れが先に到達してしまう。
- ・ 震源地や地震の大きさ（マグニチュード）、震度等の推定される精度が不十分な場合もある。
- ・ 雷や事故などのノイズで、稀に間違った速報が配信される可能性がある。



2007年7月16日の新潟県中越沖地震で
被害に遭った青海駅

最先端の受信装置やアプリケーション

既に緊急地震速報の受信装置を設置または導入されているお客様もいらっしゃると思いますが、これから設置、導入を検討される場合、インターネットの検索サイトで『緊急地震速報』や『気象庁』、『防災』等のキーワードを入力し検索すると、たくさんの情報が入手できます。今では緊急地震速報の受信装置やソフトがたくさん開発され、販売され始めていますので、今後は価格競争や多くの付加機能も出てくることでしょう。企業向け、一般向け共に、適材適所に応じた受信装置の設置検討が必要です。

下記に、インターネットで検索した緊急地震速報の受信装置取り扱い企業・メーカーの一部をご参考に紹介致します。他にもたくさんの企業・メーカーの情報が存在します。

インターネット回線

デジタルなまず@(株) 3Soft ジャパン <http://www.3soft.co.jp/3soft2.html#4>

企業・一般向けの緊急地震速報受信装置です。インターネット回線(IPv4)を使用する環境となります。

専用回線

なまずきん@(株)ハレックス <http://www.halex.co.jp/halexbrain/earthquake/case.html>

専用線(IP-VPN)を利用した企業向けの緊急地震速報受信装置です。他通信網やシステムへ連動可能等、受信形態が豊富なのが特徴です。

QCAST@明星電気(株) <http://www.meisei.co.jp/products/qcast01.html>

多様の専用線(専用回線、フレームリレー、VPN等)に対応型の企業向け緊急地震速報受信装置です。受信装置よりさらに16個までの警報出力機へ再配信ができるシステムなので、ネットワークを用いて距離の離れた他の事業所等への警報が可能です。

セコム緊急地震速報サービス@セコムトラストシステムズ(株)

<http://www.secomtrust.net/service/ekakusin/jisinsokuhou.html>

セコムからの機能レンタル型の緊急地震速報サービスです。ビルのエレベータ制御や工場のライン緊急停止等の制御も可能です。このサービスの他にも関連するサービス(災害初動支援、安否確認、電子データ保存等)もあります

衛星通信

SafetyBIRD@宇宙通信(株) <http://www.safetybird.jp/>

衛星通信を利用して緊急地震速報を配信します。アンテナと専用の緊急地震速報受信機、パソコン(LAN環境)があれば、日本全国どこでも受信可能です。SafetyBIRDを利用してデータ配信サービスを行う代理店が多数あります。

アプリケーション

アクサイン(EQSign)@(株)テックス <http://www.tecs.ne.jp/index.htm>

アクサイン(EQSign)は、キヤノン製複合機へ搭載できるオフィス向け緊急地震速報受信ソフトになります。通常はコピーやFAX、プリンターとして使用している複合機が緊急地震速報を受けると警報を発します。さらに、ネットワークに接続されているパソコンからも一斉に警報を出力させることができます。複合機から信号を受けたパソコンのモニターには、警報のカウントダウン画面が表示されます。その為、社内の多くのパソコン使用中の作業者が緊急地震速報に素早く気づくことができます。また、ネットワークに接続させた警報専用機からも警報音や光(フラッシュサイン)を出力させ地震を知らせることも出来る為、警報時にパソコンのモニターを見ていない人に緊急地震警報を伝えることが可能です。さらに地震の状況に応じて、予め作成し準備しておいた地震対応マニュアルが自動的に印刷されるので、必要のない混乱を防ぐこともできるでしょう。

携帯電話専用回線

携帯電話各社 http://www.nttdocomo.co.jp/info/news_release/page/070530_02.html

携帯電話各社は、緊急地震速報を携帯電話に一斉配信する仕組みを開発中です。仕組みについては、従来のパケット通信とは別の専用回線を使用するので、一斉配信でも回線のパンクや遅延が発生しないようにできています。今後発売される本技術に対応の端末が対象となります。

以上の詳しい内容につきましては、各企業・メーカーへお問い合わせ願います。

今までは前触れもなく、地震に遭っていたのが当たり前でした。しかし、これからは大地震が来る前に、地震の発生が判ることが当たり前の時代になっていくでしょう。万が一の場合に備え、**災害時に必要な備品と地震対応マニュアルの準備や訓練、避難場所の確保・確認を前提とし、防災意識を高めること**と共に、いち早く緊急地震速報が定着し、人々の安全に役立つことを期待します。

参考資料

- ・気象庁 HP 緊急地震速報について <http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/EEW/kaisetsu/index.html>
- ・NHKHP 10月1日スタート <http://www.nhk.or.jp/bousai/index.html>
- ・栃木県公式 HP 緊急地震速報 <http://www.pref.tochigi.jp/bousai/bousai/chisiki/kinkyu-jisin-sokuho.html>
- ・日本経済新聞 <http://www.nikkei.co.jp/>
- ・リアルタイム地震情報利用協議会 <http://www.real-time.jp/index.html>
- ・吉嶺充俊 地震被害写真集 首都大学東京 土質研究室,2001-2007. <http://geot.civil.metro-u.ac.jp/archives/eq/index-j.html>

編集後記

こんにちは、情報システム事業部の添田です。白やピンク、赤のコスモスが穏やかに咲いているのを見かけるようになりました。先日、人生初めて電車の乗り間違えをしてしまいました。町田駅で乗り換え、滅多に乗らない小田急線で神奈川の藤沢方面へ行く予定でしたが、間違えて「小田原」行きの電車へ。。私の頭の中では、藤沢駅を通る東海道線の「小田原」行きがあったので、小田急線の「小田原」行きでも藤沢方面へ行けると勝手に判断し、発車直前にさっと乗ってしまったのが間違いでした。段々と自然豊かに変わる風景に疑問を抱き、やっと伊勢原の情緒ある「鶴巻温泉駅」で気づき下車。秋の始まりを感じる澄んだ青空を見上げながらのんびりと上りの電車を待ちました。

現在、弊社各事業所工場の全ての生産ラインに弊社自社システムの「品質保証システム」、「客先仕様システム」、「クレーム管理システム」の情報表示用モニターを設置しています。

配線工事も自分達で行い、深夜や休日を返上して作業をしました。配線工事、その他諸々仕事が一段落しましたら、鶴巻温泉へのんびりと旅でもしたいなど考えています。



発行：根津鋼材 株式会社

住所：〒116-0014 東京都荒川区東日暮里2-2-3 (TEL)03-3805-5555

メール：hp_master@nezu-g.co.jp ホームページ：<http://www.nezu-g.co.jp/>

発行人：根津訓光 / 監修 樋口良成 / 編集長

編集：情報システム事業部

NEZU システム通信に掲載された記事の転載はご遠慮願います。

このメールマガジンは、弊社とお取引があり配信依頼がありましたお客様にのみ発行しております。配信中止の場合は、お手数ですが hp_master@nezu-g.co.jp までご連絡ください。その際には、御社名、御社（配信先）メールアドレス、担当者様名を明記くださいます様よろしくお願ひ致します。